

8月 平城宮跡自然観察会
(燕の罫入り) 報告

自然教室だより

9月『佐保台小学校
放課後子供教室』報告

辻本 信一

辻本 信一

8月22日(火)、平城宮跡にて「燕の罫入り」見学とそれに先立ち植物観察会を実施しました。

集合は午後5時。とはいえ、まだまだ残暑厳しい中、8名の方にご参加いただきました。

ツバメが集まりだす日暮れまでの時間を利用し、まずは、平城宮跡に豊富な蔓性植物を主とした秋の植物観察のはじまりです。

9月6日(水)佐保台小学校放課後子供教室の子供たちを対象に校庭の昆虫観察会を実施しました。昨年同様、事前の予報では当日の天気は雨。体育館内での雨バージョンによる実施も覚悟しておりましたが、これまた昨年同様、気まぐれな天気の回復が功を奏し、当日は気温も下がり、秋の気配を感じる絶好の昆虫採取日和となりました。



【イザ、出発】 【資料を参考に、】

「ヤブガラシ」については、中央で左・右に分かれる蔓の巻き方、一日の内に雌雄が入れ替わる生態をみんなで観察。他にも「ヘクソカズラ」、「ガガイモ」、「ツルマメ」、「カナムグラ」など、事前に配布された資料の内容を基に、目からうろこの観察会を満喫していただきました。

その後一行は大極殿西側ヨシハラ前に移動燕の到来を待ちます。



【夕焼け空に燕の影】

日暮れと共に雲間に見える太陽は一段と輝きを増し、あたりを黄金色に染めます。それを合図に燕の一団が続々登場。いきなりクライマックスを迎えます。その場に居合わせた「野鳥の会」のメンバーの方から、最近では太陽電池のソーラーパネル設置などで燕にとって快適な場所が少なくなり、その分平城宮跡に集まる燕が増えたとか、その数6万羽とお聞きし、思わず納得してしまいました。



【網を持って全員集合】 【懸命の昆虫採取】

参加した子供たちは総勢56名。それに対し私たちスタッフは14名で佐保台小学校からも8名のコーディネーターの方が参加協力してくれました。

事前の下見では少なく思えた昆虫もどこに潜んでいたのか、草むらを容赦なく分け入る子供たちに次々と追い出され、思いの他の大収穫。(勿論、観察後は全ての昆虫をもとの校庭にリリース)

トノサマバッタ、ショウリョウバッタ、ウスバキトンボ、オンブバッタ、クサキリ、クルマバッタモドキなど、昨年に引き続きたくさんの種類の昆虫をゲットし子供たちも大満足。その後二部屋に分かれトンボやヒマワリのペンダント作りをみんなで楽しみ、個性溢れる作品が並びました。



【みんなで楽しくペンダント作り】

最後に、昆虫観察会に因み、シュロの葉で作ったバッタを子供たちにプレゼント。みんな大喜びで私たちも大満足の日でした。